



2e (ドゥーエ) 日焼け止め ケミカル・ノンケミカルタイプ

みなさん 2e(ドゥーエ)のスキンケアシリーズをご存じですか？資生堂が出している低刺激のスキンケアブランドです。ドゥーエの化粧水や乳液は、からだにもお使いいただけます。刺激に弱い方にも使っていただけるよう、配合成分はできるかぎり少なく、必要なものを厳選して使用しています。

今回は夏に活躍！日焼け止めについてのご紹介。日焼け止めのパッケージでよく目にする「SPF」「PA」の表示。紫外線は、波長の違うものが複数あり、このうち主に「UVA」「UVB」という2種類の紫外線が日焼けなど肌に影響を与えられています。「UVA」は、波長が長く肌の奥深い真皮層にまで届くので、しみやしわなど、じわじわと肌に様々な影響を及ぼします。

「UVB」は、波長が短く肌の浅いところに届く紫外線で、表皮にダメージを与え、肌が赤くなり、メラニン色素により色素沈着が起こります。

SPFはこの「UVB」を防ぐ指標です。最高は50で、「SPF50」と表示、51以上を「SPF50+」と表示。たとえば、SPF1あたり

約20分で、SPF30の場合、約20分×30=約600分(10時間)、きちんと塗ってれば肌が赤くなるまでの時間を延ばしてくれます。「PA」は、「UVA」の防止効果を示し、「+」の数で表示します。

日焼け止めには、「紫外線吸収剤(ケミカル)」もしくは、「紫外線散乱剤(ノンケミカル)」が使用されています。

「紫外線吸収剤(ケミカル)」は紫外線を吸収して熱や赤外線など他のエネルギーに化学変化させて放出し紫外線を防ぎます。それに対して「紫外線散乱剤(ノンケミカル)」は、紫外線を反射させ散乱させます。

「紫外線吸収剤(ケミカル)」は、透明で塗りやすいですが紫外線を吸収し化学変化を起こすため、敏感肌の方に合わない場合があります。また、「紫外線散乱剤(ノンケミカル)」は白い粉の成分のため、塗ったときに白く見えやすい特徴があります。

しかし、2eのノンケミカルタイプは、なめらかに均一に広がるので、塗った後も白さが目立ちません。ケミカルもノンケミカルタイプも両方、化粧下地としても使え、均一膜プロテクト技術により花粉やちり・ほこりなどの微粒子が肌に付着するのを防ぎます。サンプルもご用意しています。処方箋がなくても、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

処方せん送信で 待ち時間短縮
あしたば薬局 南7条店は
薬局コード「13191」で登録



Google Playで検索
App Storeで検索



札幌市中央区南7条西17丁目1-8 (若浜医院様となり)

TEL:011-533-4193 FAX:011-533-4194



あしたば薬局南7条店